

第4回 東四つ木在宅サービスセンター運営推進会議 報告書

開催日時	平成30年3月23日(金) 16時00分～17時30分		
開催場所	東四つ木在宅サービスセンター デイルーム		
参加者	区分	職名	人数
	利用者及び家族	利用者	
		利用者家族	
	家族会代表	コスモス家族会	2名
	地域住民の代表	・自治会・町会	2名
		・民生・児童委員	6名
	地域包括支援センター	高齢者総合相談センター 東四つ木 相談員	1名
	知見を有する者	奥戸在宅サービスセンター 所長	1名
センター職員	施設長	3名	
その他			

次 第

- 1、施設長 挨拶
- 2、職員の紹介
- 3、平成30年度介護保険制度改訂
- 4、行事(平成29年10月～)
- 5、男性利用者の方が参加されている活動
- 6、オレンジカフェ人參 イベント紹介(平成29年10月～)
- 7、ボランティア交流会
- 8、ヒヤリハット、事故報告(平成29年度)
- 9、苦情相談 報告
- 11、ご意見、要望及び質疑応答
- 12、次回の予定 平成30年9月頃

ご意見、要望、質疑応答等

	内容	事業所の回答
1	ヒヤリハットや事故などの対応策はいつ検討しているのか。	できる限り早い段階で検討している。通常は当日のミーティングで話し合うが、経過を見ていかなければならない場合等は対応策が確立するまで時間もかかることがある。
2	職員教育にはお金が掛かるかと思うが、売り上げを伸ばすにはどのようにしていけば良いか。	やはり利用者の皆さんに楽しんでいただき利用率を伸ばしていけるようにしています。
〃	どのぐらいの利用者が来れば良いのか？	利用率で90%を目標にしており、その程度あれば経営はプラスマイナス0ぐらいで行ける予定です。
3	車両事故について、車同士がすれ違いができない道があるとのことだが、東四つ木地区は地区整備委員会でだいぶ道路の拡張をしてきた。まだそのような道があるのか。	四つ木から東四つ木にかけてそのような道がまだある。できる限り利用者宅の近くまで行くので、そのような道も通らなければならないことが多い。
4	利用者家族から細かいことまで苦情が来ることがあると思うが大変ではないか。	一般的にどの程度のことから苦情ということかという基準はないが、センターでは利用者の声＝苦情という捉え方をしている。どのような声にも耳を傾け業務改善ができればと考えている。
5	地域でボランティアをしているが、先日近所の方に助けを求められ自宅に伺ったところ、排泄の失敗で衣類が汚れていて着替え盗の介護をして良いのか迷ってしまった。ボランティアはどこまでやっていいのかわからない。	施設に来るボランティアの方は身体介護は一切行っていない。介護はやはり専門的な技術が必要なので、親切心だけで行うと危険が伴うことがある。そのような時は地域の高齢者総合相談センターへ連絡(相談)することが良いかと思う。
〃	民生委員さんたちはどのようにしているのか。	(民生委員からの回答) やはり介護に関しては行っていない。どうしてもそのようなことが必要であれば高齢者総合相談センターへ連絡することとなっている。 (高齢者総合相談センタースタッフより) そのような時はいつでも連絡を頂ければたいおうする。